

2020年3月25日

長野県知事  
阿部 守一様

長野県保険医協会  
会長 宮沢 裕夫

## 医療機関における新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望書

### 前略

新型コロナウイルス感染症対策に対するご尽力に敬意を表します。

私たちは長野県内の医科、歯科開業医を中心に1350名の会員で構成する保険医の団体です。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、マスクや消毒液等の供給不足については、マスコミ報道でも取り上げられているように、医療現場では業者から購入できない欠品状態が続いています。

このたび本会が会員医療機関に対して緊急アンケートを行った結果、特にマスクについては8割以上の医療機関で不足と回答、約6割が4週間、3割が2週間、1割で数日から1週間で在庫切れとなる状況が明らかになりました。

また、マスクに限らず消毒用アルコールや衛生材料の品不足の深刻な状況を訴える声が多数寄せられています。

医療施設等における新型コロナウイルス感染症への対応について、標準的な予防対策が求められていますが、全ての患者さんの安心・安全の医療体制確保のために医療現場においてマスク等の感染防具は必須なものです。

さらに、今回の感染症対策について行政機関に対して、速やかな情報提供や検査体制の整備等の様々な要望も寄せられています。

本会では国に対しても要望を行っているところですが、長野県として第一線で診療にあたる医療機関と県民の健康を守るために下記の事項について早急に対応して頂きますよう、強く要望致します。

### 記

- 一、マスクや消毒液等の確保について、県として責任を持ち、供給不足解消に向けた取り組みをさらに強化するとともに、緊急対策として在庫不足が深刻な医療機関のための相談と調整のための窓口を設置すること。
- 一、新型コロナウイルス感染症（疑い）の患者さんの診療にあたり、他の患者と分離して診察するために診療時間や空間の区分等を行う場合の財政支援を行うこと。
- 一、医療機関への迅速かつ正確な情報提供及び県民に対する予防対策や受診方法についての広報を徹底すること。

以上